個人 8

受付	令和５年６月８日 (午前)・午後　9 時 05 分

一般質問（代表 (個人) 通告書

令和５年６月８日

尾張旭市議会議長　殿

氏　名　片渕　卓三

尾張旭市議会会議規則第５０条第１項の規定により 6 月定例会において別紙のとおり質問したいので通知します。

なお、質問事項の件数及び質問方法は、下記のとおりです。

記

1　質問事項　　3　件

2　質問方法

	１回目　一括質問、一括答弁 再質問以降　質問事項（大項目）ごとに一問一答
○	１回目から　質問事項（大項目）ごとに一問一答

↑ 選択する方法に○を付す。

尾張旭市議会 受付 -5.6.8 第一号

別紙　　氏　名　片渕　卓三

質　問　事　項 No.　1	デジタル技術で人命守る「防災ＤＸ」について
要旨	自然災害が激甚化・頻発化する中、防災分野で人工知能（ＡＩ）などの最新技術を活用したデジタルトランスフォーメーション（ＤＸ）を進める自治体が広がっております。気象情報や被害状況を迅速に把握し、分かりやすく伝えることで住民の安全確保につなげるのが狙いであり、災害対応に当たる行政職員の負担軽減への期待もあります。防災ＤＸについてお伺いいたします。 防災ＤＸの例として、スマートフォン（スマホ）のアプリを使って防災情報を発信している自治体があります。 本市では2021年４月１日から、市からの防災情報を配信する「尾張旭市防災アプリ」の運用を開始しました。このアプリは、平常時や災害時に役立つ情報を、音声や文字などで分かりやすくお知らせする機能を備え、防災行政無線の放送内容を確認できるスマートフォン向けのアプリであります。以下、お伺いいたします。 （１）尾張旭市防災アプリのダウンロード数について （２）尾張旭市防災アプリの機能について （３）防災アプリの新たなる機能について （４）防災アプリの普及と啓発について

※　申し合わせ事項に留意する。

別紙　　氏　名　片渕　卓三

質　問　事　項 No.　2	自転車ヘルメット着用努力義務と交通安全対策について
要 旨	改正道路交通法の施行により、令和５年４月１日から自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化されました。自転車を運転する全ての人がヘルメットをかぶることに努めなければならないのはもちろんのこと、同乗する方にもヘルメットをかぶらせるように努めなければなりません。 また、保護者等の方は、児童や幼児が自転車を運転する際は、ヘルメットをかぶらせるよう努めなければなりません。 2022年に発生した自転車が関係する事故は69,985件でありました。交通事故全体に占める割合は23.3%で近年増え続けております。以下、お伺いいたします。 （１）ヘルメット着用の意義と啓発・促進について （２）ヘルメット盗難防止対策と保管場所について （３）昨年11月に改定された「自転車安全利用五則」の周知啓発について （４）信号のない横断歩道に「横断者注意喚起灯」設置について

※　申し合わせ事項に留意する

別紙　　氏　名　片渕　卓三

質　問　事　項 No.　3	高齢者支援について
要旨	長寿命化による高齢者の増加や高齢者の親とその子が同居しなくなったこと、未婚化の影響などで高齢者の独り暮らしが増加しています。家族の形はこの40年間で大きく変化しています。国の統計では、1980年では夫婦と子の家族が全世帯の約42％を示していましたが、2020年になると25％まで減少しています。逆に単身世帯の割合は38％と1980年から倍増しています。2040年には39％を超えると推測されています。また、50歳時の未婚割合は2040年には29％となり、３人に１人が結婚経験のない状況になると推測をされております。 今後、高齢者の身寄り問題が深刻化する懸念があり、70代の独り暮らし男性の配偶関係を見ると、1985年には死別者が70％、未婚者が５％でありましたが、2020年では死別者が30％で未婚者が34％になりました。同じ独り暮らしの高齢者でも、未婚者は死別者と違って配偶者だけでなく子供がいないことで、老後を家族に頼ることが一層難しくなっています。病院への同行や見守りなど、生活支援、病院や施設への入所、亡くなった後の葬儀や家屋、アパートの後処理、死後の事務処理を誰が担うのかなど、多くの課題があります。以下。お伺いいたします。 （１）「身寄り問題」について （２）高齢者向けのリーフレットの作成と配布について （３）物価高騰対策や生活支援のための高齢者を対象にした給付金について

※　申し合わせ事項に留意する。